

平成28年度 松本保育園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

- 「あいさつ」・・・あいさつや けじめのある行動ができる子
- 「がんばり」・・・あきらめずに 自分のことが 自分でできる子
- 「なかよし」・・・友だちの気持ちが 考えられる子

2. 本年度の重点目標

- (1) 入園から卒園までの保育園生活を通して、基本的生活習慣を身につけます。
- (2) お友だちや先生と元気なあいさつ活動
- (3) 歩け！歩け！活動 ～身体づくりは心づくり～
- (4) 地域との触れ合い活動・園外活動

3. 自己評価

- A…十分達成されている B…達成されている
- C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・評価は適切だと思う。
- ・子どもたちの1年の成長がすごいと感じた。先生たちが、計画的に子ども達に合った指導をしてくれていることがわかった。
- ・園目標の、挨拶が定着できてきていると感じられる。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

幼児の実態・信学会の基本理念・保育士や親の願い・法に示された教育・保育の目的などに基づき、園目標を設定し、その具現化のために職員の意識統一を図り、日々の活動を積み重ねてきた。

「あいさつ」に関しては、重点的に取り組めるよう挨拶週間を設けたり、年齢に応じた目標を立て、指導してきたことで、4月当初は 恥ずかしがって声が出なかった子ども達が、元気に「おはようございます」と言えるようになってきている。未満児さんも、保育者からの声掛けに笑顔を向けたり、手を振ったりできるようになってきている。また、今年度は、お家の皆様に登園時間の協力していただき、朝の自由遊びの時間と、午前の活動の時間を多く取るようにしたことで、子どもたちの運動量と活動量が昨年度に比べ増えてきている。しかし、もっとという保護者の皆様からの要望もある。そのためにも、現在行っている 園児の個人記録を大切に、記録を取るだけでなく見返し、良い点 課題を職員で共有しながら保育に生かし、信頼される園に向けて、安心安全に配慮し一層細やかな保育の実現を目指していきたい。